

5

4【日・祝】・5【月・祝】

とよはしアートフェスティバル2025 大道芸 in とよはし◎PLAT 主ホールほか

10【土】

第4回城バレースタジオミニコンサート◎PLAT アートスペース

11【日】

豊橋落語天狗連 成田屋紫蝶・駒久家南朝 式ちょう会◎PLAT アートスペース

12【月】

第54回 桂文我独演会◎PLAT アートスペース

17【土】

人生ここからフェス2025 in 三河◎PLAT 主ホール

17【土】

ユーロ・フェリーチェ プチコンサート Vol.11◎PLAT アートスペース

24【土】

WHY Jazz 楽団 Live at Plat vol.10◎PLAT アートスペース

25【日】

国際ソロプチミスト豊橋ポートチャリティー事業「東儀秀樹トーク&ライブ」～雅楽と現代音楽の融合～◎PLAT 主ホール

30【金】

プラットワンコインコンサート Musica Waya「わや!なおもちゃ箱」◎PLAT アートスペース

6

1【日】

愛知県立豊橋東高等学校吹奏楽部 第34回定期演奏会◎PLAT 主ホール

6【金】～8【日】

ケムリ研究室 no.4『ペイジルタウンの女神』◎PLAT 主ホール

8【日】

第8回 ユーロ・ソアヴェ演奏会◎PLAT アートスペース

21【土】

辻純佳&磯谷莉佳デュオコンサート「風薫るバリのひととき」◎PLAT アートスペース

22【日】

豊橋吹奏楽団 The 9th Regular Concert◎PLAT アートスペース

27【金】～29【日】

『星の降る時』◎PLAT 主ホール

7

5【土】・6【日】

『ザ・ヒューマンズ 人間たち』◎PLAT 主ホール

11【金】

プラットワンコインコンサート デュオ・ネリネ「チューバ de 夏の夢」◎PLAT アートスペース

12【土】

映画「ぼくたちの哲学教室」上映会&哲学対話◎PLAT アートスペース

PLAT
NEWS

TOYOHASHI ARTS THEATRE

PLAT

表紙／山崎静代、平田 満

『ザ・ヒューマンズ 人間たち』

企画・発行／公益財団法人豊橋文化振興財団

編集・デザイン／味岡伸太郎＋有限会社STAFF

令和7年4月発行73号[年4回発行]

PLAT
NEWS

プラットニュース

公益財団法人
豊橋文化振興財団情報誌
2025年5月～7月

vol. 73



TOYOHASHI

ARTS

THEATRE

PLAT



CONTENTS

目次

1
目次
インタビュー・表紙の顔

2
INTERVIEW:1
家族劇の体裁をなしながら、実は不安という
化物の話。
どこにでもあるやりとりに、当事者性を出せる
俳優さんたち。
桑原裕子、山崎静代、平田 満

5
COLUMNS
笑いと涙、超絶びっくり、大道芸のすべてが
ここにある。
橋本隆平

7
INTERVIEW:2
広い意味での愛にまつわる物語です。
横山拓也

9
INFORMATION
PLAT主催・共催公演情報

TICKET CENTER
13
PURA PURA
バラコの寄り道ぶらぶら
相方のような
桑原裕子

14
SPONSOR
SUPPORT

INTERVIEW

インタビュー



撮影：伊藤華織

橋本隆平[はしもと・りゅうへい]
幼少時より大道芸フェスティバルプロデューサーである父、橋本隆雄と共に、フェスティバル運営に携わり、その経験から国内の数多くのフェスティバルにおいて、現在もプロデューサー、及び統括ディレクターを務める。その他、海外との交流も持ち、主にヨーロッパを中心にパフォーマーの招聘活動も行う。
【主なフェスティバル】大道芸inとよはし/高円寺びっくり大道芸/ひたち国際大道芸/アートタウンつくば/SETOUCHI SUMMER NIGHT FESTIVAL/松本まちなか大道芸/高松大道芸フェスタ/三茶DE大道芸/あつぎ国際大道芸/久留米たまがる大道芸/さいたま新都心大道芸フェスティバル 他多数



撮影：馬場道浩

横山拓也[よこやま・たくや]
1977年生まれ。大阪府出身。劇作家・演出家。演劇ユニットiaku代表。緻密な会話が螺旋階段を上がるようにじっくりと層を重ね、いつの間にか登場人物たちの葛藤に立ち会っているような感覚に陥る対話中心の劇を発表している。繰り返しの上演が望まれる作品づくり、また、大人の鑑賞に耐え得るエンタテインメントとしての作品づくりを意識して活動中。2009年『エダニク』で日本劇作家協会新人戯曲賞、13年『人の気も知らないで』でせんだい短編戯曲賞、24年『モモンバのくくり罠』で鶴屋南北戯曲賞、『流れんな』『ワタシたちはモノガタリ』で紀伊国屋演劇賞個人賞など受賞多数。

COVER

表紙の顔



山崎静代[やまさき・しずよ]
2003年、お笑いコンビ「南海キャンディーズ」を結成しM-1グランプリ2004で準優勝を果たし注目を集める。06年、映画『フラガール』に出演し第30回日本アカデミー賞新人俳優賞受賞。20年から日本ボクシング連盟女子強化委員を務めるなど、活躍は多岐にわたる。これまでの主な出演に映画『幽霊はわがままな夢を見る』『親のお金は誰のもの 法定相続人』『半径1メートルの君〜上を向いて歩こう〜』『エリカ38』『ヒーローマニア-生活-』、ドラマ『リラの花咲くけものみち』『プライベートバンカー』など。
【主な舞台】『山笑う』『徒然アルツハイマー』『BIRTHDAY』『おかしな二人』『雪まろげ』『マニアック』『ひみつ』『ターゆうー』『ザ・オダサク』『ちんけさんと大きな女たち』『ゼブラ』など。



平田 満[ひらた・みつる]
早稲田大学在学中、「つかこうへい事務所」旗揚げに参加。1982年、映画『蒲田行進曲』で第6回日本アカデミー賞最優秀主演男優賞をはじめ多数の映画賞を受賞。06年企画プロデュース共同体「アル☆カンパニー」を立ち上げ、平田俊子、青木豪、蓬莱竜太、前田司郎、田村孝裕、三浦大輔、桑原裕子、野田慈伸など時代を担う幅広い作家・演出家と様々な試みに取り組んでいる。また芸術文化アドバイザーを務めた穂の国とよはし芸術劇場PLATプロデュース『荒れ野』では、企画、出演し、第5回ハヤカワ悲劇喜劇賞を受賞。最近の主な出演に、連続テレビ小説『虎に翼』、ドラマ『それぞれの孤独のグルメ』、映画『めくらやなぎと眠る女』『ひとりたび』など。
【主な舞台】『海をゆく者』『新ハムレット』『ハイゼンベルグ』『ぼくの名前はズッキーニ』『POPPY!!!』『THE NETHER』『美しく青く』『赤道の下のマクベス』『白蟻の巣』『星回帰線』など。

INTERVIEW

インタビュー



作＝スティーブン・キャラム

翻訳＝広田敦郎

演出＝桑原裕子

出演＝山崎静代、青山美郷、細川 岳、

稲川実代子、増子倭文江、平田 満

会場＝PLAT 主ホール

家族劇の体裁をなしながら、
実は不安という化物の話。
桑原裕子 演出

本初演のスティーブン・キャラム作『ザ・ヒューマンズー人間たち』の魅力や、やりがいはどこにあるのでしょうか。

桑原——この作品は家族劇の体裁をなしながらも、実は常に私たちが抱えている不安という化物のお話です。アメリカが舞台なので、我々日本人には宗教観など感覚的に分かりにくいところもありますが、そこで行われている会話は私たちにも通じています。この戯曲の魅力はいわゆる翻訳劇っぽくないところ。ニューヨークのチャイナタウンという集合住宅の中の様子も、私たちが公共団地で上の階の人に気を遣って生きているという空気感に近いですし、空気を読んであえて口には出さないという場面も日本人に近い。あと、かつて日本が豊かだった時代を知っている私たちが、いろんなものを失っていく不安から他者に対して攻撃的になっている現状も、この作品と通じている。だから、ここで描かれている不安との向き合い方というのは、今まさに私たちが対面していることへの検証でもあると思います。

演出面でどういうことを狙いにしようと思っておられますか。

桑原——この台本を読んでいくと、いろいろな発見があります。舞台となる住居は一階と地下の二層構造の設定です。例えばリビングでは特に重要なこと

が起きてない時に、上階の端ですぐエモーションなことが行われている。お客さんがそちらにフォーカスすると、下階で誰かがジュースをひっくり返したり。舞台上のどこを見てもいいという状態は前提として、その上でお客さんの目が自然とどこに向いてしまうのかを、キャストと一緒に探っていきながら作っていくことになると思います。また、劇中で「怪奇現象」がいろいろ起こりますが、最初は「ただの騒音か」「大したことない」だったことが、何度も繰り返されると登場人物のストレスとなり、混乱して怯えてしまう。自分は一体何が不安なのだろうと、さらにその先にある心理的な不安にまで届かせなければいけないという演者の作業は、難しい挑戦だなと思います。

今回のキャストिंगの狙いをお伺いできますか。

桑原——平田さんに父・エリック役のオファーをさせていただいた時、いわゆる「翻訳劇」ではなくそこに自分たちがこの物語で今生きてそこにいるという、当事者的な形でやるのだったら面白くなるだろうとおっしゃっていただきました。家族ならどこにでも「あるある」というやりとりに当事者性を出せる俳優さんたちを、ということイメージしキャストिंगしました。

お二人がオファーを受けるにあたり、ポイントはどこだったのでしょうか。

平田——この戯曲は登場人物6人が団子みたいに

ローをし合ったりする。バランスを取り合おうと試行錯誤している空気感は、ワハハと笑うようなタイプとは違うユーモアとして面白いです。

お二人はご自身の役に関して、どんな印象を持っていますか。

平田——家族がギクシャクしているところが面白くなればいいなと思います。よくあるお父さんという意味合いでは親近感があるので、できる範囲で重なっていけばいいなと思っています。

山崎——家族の中では、この人の役割とあえて決まっていなくても自然と役割分担ができると思っていて。実際に私には姉と弟がいますが、多分自分がバランスを取る役割を担っています。その感じが、つらい状況でもギクシャクした家族を何とか取り持とう、バランスを取ろうとしているエイミーと重なる部分があるなと感じています。

桑原さんは今回お二人にどのようなことを期待していらっしゃるのでしょうか。

桑原——もともとお二人はユーモアのセンスがありますが、お二人とも「どうでしょう、面白いでしょ？」というタイプではないところが魅力です。この物語も家族を和ませ、笑わせたりはするものの、基本的にはお互い気遣って過でして、ある瞬間にそれが崩れることによって笑いが起きる。例えば、お父さんがいいことをしようとした時に、つるつと何か足元が崩れるような瞬間があったり、姉として落ち着かせるための一言が、意外と刺さることだったり、そこにちょっと面白みがある。そういうところでのお二人の立ち位置を期待しています。

お二人は今回の舞台での目標やテーマはありますか。
平田——そんな大きいことは何にも考えてないですね。頑張って、みんなであがいて、それが作品として、作家や、演出の桑原さんが求めるものが出てくればいいなと思います。

山崎——まず、セリフを早めに覚えたいなと思います。あとは先輩方についていけるように、その場の空気にちゃんと反応し、皆さんでつくれるようになりたいです。**最後に、こういうところを観てほしい、という一言を桑原さん、お願いします。**

桑原——ホームドラマとかヒューマンドラマだと誤解していると怪我しますよ、みたいな作品です。起承転結もはつきりせず、じりじりするのですが、それこそが今体験していただきたいことです。そこを耐えろと、その先の予想していないところに連れて行ってくれる話です。「こういう話だな」という予想から裏切られた、もう一歩先を楽しんでいただけたらと思います。**ありがとうございました。**

り立てられ、いつか一緒にできたらと思っていました。また、傷ついた長女エイミーがお父さんに慰められているシーンを読んだとき「しずちゃんで見たい」と思い、お願いしました。

平田さんは、増子さん以外の方々とは初共演とのことですが、どのような期待を持たれて挑むのでしょうか。

平田——最初は「お願いします」から、だんだん打ち解け、本音でぶつかる間にだんだんと家族になっていくのが、芝居の醍醐味でもあるし、面白さです。**ブロードウェイでの舞台映像では結構笑いが起きています。笑いが起きるのはアメリカならではの反応でしょうが、この戯曲の面白さはどのようなところでしょうか。**

桑原——日本人の感覚だとこの作品が描いているような緊張を感じながらは笑えないかもしれません。ただ、もう崩壊したように見えた関係が、一分後には急にハグしたり、愛によって補完され、また戻ったりする。この家族のやりとりの波の激しさは面白い。お父さんがよかれと思って言っていることが娘たちにとって癪に障るというやりとりや、姉妹のどちらかが破綻したことを言うと、どちらかがバランスを取ろうとフオ

んを笑わせなきゃ!みたいな気持ちに駆り立てられているのを、プロの芸人さんに観られていたのは私的にはちょっとやばいですね。

山崎さんは演劇のどういうところに魅力を感じているのでしょうか。

山崎——芸人の場合、稽古は1、2回ぐらい、さらにこの部分はアドリブでやるからと決めておき本番で急に変わることもあります。なので、最初は演劇の現場で一カ月も稽古をすることに戸惑いましたが、舞台を何回もやるうちに、一カ月って必要なんだと思いました。漫才も毎回新鮮にやりますが、回を重ねれば重ねるほど難しい。お客さんの反応を感じながら自分が発するちょっとした間の変化もあれば、相手のしゃべり方がちょっと変わったらこっちも変わる、そういうやりとりが生で行われることが面白いですね。

今回、山崎さんのどういったところに魅力を感じて出演を依頼したのでしょうか。

桑原——前から出演していらっしゃる映画や映像を観て、ほぼ笑んでいるのに泣き出しそう、でも絶対泣かないだろうな、でも内心ムカついているのかな、など容易に心の内側が読めない雰囲気はこちらが駆

山崎 静代
出演

平田 満
出演

どこにでもあるやりとり、
当事者性を出せる俳優さんたち。
桑原 裕子

いて、しかも関係性がぐちゃぐちゃと絡んでいるというところが好きです。あと、一階と地下で同時に行われることがあり、いったいどっちに注目すればいいんだと気が散って、読みようが難しい。ミステリアスで何か分からないが、最後にお客さんに伝わるものを生み出せたら、面白いですね。ハードルは高いですが、山崎——戯曲を読ませていただく前に、平田さんと桑原さんが一緒という話を聞いて、「あ、やりたい」と。特に大きな事件が起こるのではなく、家族で抱えている問題や彼らの葛藤から、その人たちののぞき見る感覚もあって、読むより演じる方が楽しみです。

平田さん、桑原さんのどういうところがいいと思われたのでしょうか。
山崎——以前、平田さんが小さい子どもの役を演じた朗読劇を拝見して、本当に小さい子どもになれるんだ、すごく面白いなと思いました。桑原さんは、3年ぐらい前に俳優として出られていた『閃光ばなし』が、とても面白かったです。笑いを取るセンサーがすごく長けていらっしゃると思いました。

桑原——佐藤 B 作さんのシーンで、50 回の上演で毎回アドリブで違うことをやったんですが、B 作さ

とよはしアートフェスティバル2025

大道芸inとよはし

5月4日[日・祝]12:00~18:00、5日[月・祝]11:00~16:00

① 加納真実

[マイムコメディ]

有無を言わせないギリギリの狂気・・・! 大ヒットした歌謡曲にのせて、奇妙な青いジャージ姿の女が、ストーリーがいに追ってくる!? これは芸なのか? いやアート? それとも…。抜け出せない加納ワールドをご堪能あれ!

② シルヴプレ

[マイムコメディ]

愛と笑いのパントマイム劇場。日本人特有の悲哀を見事に切り取った、劇的パントマイムの30分。清く、正しく、美しく。愛らしく、可笑しく、なんとも滑稽。もう笑わずにはいられない。ヨーロッパでも大人気の2人組!

③ ガンジスインダストリー

[足長ウォーキングアクト]
神聖さと畏怖、現代人が忘れつつある、内なる感覚を呼びさす、大自然からの来訪者。自然と対峙したとき、あなたの心に産まれる感情は??

④ 中国雑技芸術団

[中国雑技]
バランス・軟体・アクロバット、磨き抜かれた身体が魅せる、壮絶な技の数々。観る者の想像を軽く凌駕する驚きの連続に、息を呑むのも忘れてしまうほど! はたして今年どんな技が繰り出されるのか?

⑤ Asterisk NOVA

[アクロバット]
幅10cm! 高さ3m! の巨大な平均台で華麗に舞うSaika。Takuyaが見せるのは、なんと上空8mで魅せるバランス芸、その名も『バランス・オブ・デス』。毎回毎回、命がけのパフォーマンスを青空の下でお見せします!

⑪ 芸人まこと

[THE大道芸]

お客さんのテンションを自由自在に操りまくる天才的なテンションコントローラー! 本人以外、いや本人でさえも、なにが起こるか分からない! でも、だからこそ、面白い! 芸もトークもやることなすこと、常識無用のミスター治外法権!!!

⑫ Dctpeppers Theatre

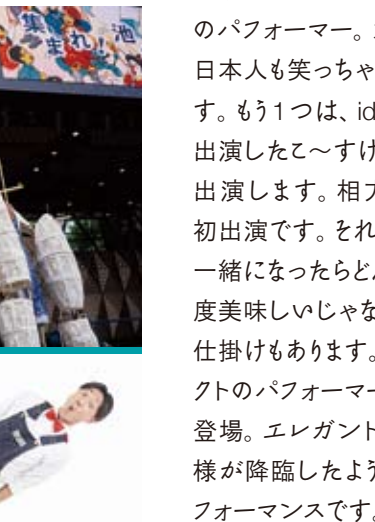
[巨大操り人形]

3mを超す巨大な象が練り歩く!? 国内外で活躍し高い評価を得ている人形劇団が、巨大なパペット作品でフェスティバルに登場! 圧倒的な存在感と、心を感じる繊細な動き、これは絶対見るしかないっ!

⑬ ココナツ山本

[コメディ]

この男、見るからに怪しすぎる。アクが強い、アクしかない! でも嫌いじゃない。。。いや、むしろ好きだ! そう、この面白さ、吸い寄せられて離れられない…。『ココナツ』。観客の吸引力が変わらない、ただひとつの大道芸人!



⑥ okk

[ウォーキングアクト]

物の怪の世界から次元を超えて、迷い込んできたのは一匹の河童。はたして本当にキュウリは好きなのか!! 街をくまなく探してみよう!

⑦ こ〜すけ

[コメディ]

誰からも愛される抜群のキャラクター! なんとといっても注目『顔』。目が離せない! 心つかまれる! その顔笑える!! 天性の才能が輝く、七色の表情のオンパレード! きっとみんな『こ〜すけ』を大好きになっちゃうはず!

⑧ Street Entertainer Hi2

[コメディ]

センスとテンポの良さで魅了するストリートエンターテイナー! スタイリッシュでカッコいいのに笑えちゃう! フォークを使ったマジックでは、ハートウォーミングさに目頭まで熱くなるっ!?

⑨ idio2

[コメディ]

普段はソロでも活躍する「Hi2」と「こ〜すけ」。2人が贈るクールでおバカなニュースタイルコメディ! カッコいいのに、面白い! おしゃれなのに、なんか笑える! なんだこれ、さっきからワクワクが止まらないぞ!!

⑩ チャラン・ポ・ランタン

[唄とアコーディオン]

なんと『もも』は昨年の紅白歌合戦にも出演! あの大ヒットドラマ『逃げ恥』のOP曲でもお馴染み、『もも』と『小春』の姉妹ユニット! サーカス風の独特な世界観で、2人にしかできない音楽の力で最高のステージをお届けします!

⑭ SUKE3&SYU

[アクロバット]

顔面偏差値、割と高め。脳内偏差値、なんかおバカめ。迫力満点のアクロバットを、コメディを交えながらも感動的に締めくくる! 息のあったコンビネーションと重力を忘れさせる美しい光景は、興奮すること間違いなし!! 愛すべきアホロバットお兄さん!

⑮ 竹内直

[Jazz]

SAXプレイヤー竹内直を中心に、今、日本で最も実力があると思われる最高のミュージシャン達による夢のLIVE。深みと迫力、圧倒的な存在感。街に響き渡る本気の音色! 本気のJazzをお聞き下さい!

⑯ ブラックエレファント

[Jazz]

トロンボーン&トランペットを中心とした熱きブラス隊! トランペットの高らかな爆発音、トロンボーンのボディにのびる低音は、激アツ間違いなし! ルックスは怖いけど、音はとっても優しい! みんなで一緒に盛り上がりましょう!!

笑い、涙、超絶びっくり、大道芸のすべてがここにある。

橋本隆平 大道芸プロデューサー

今年で14回目となる「大道芸inとよはし」の見どころは、2年ぶりに豊橋に帰ってくるチャラン・ポ・ランタン。去年末にボーカルの方も椎名林檎さんと紅白歌合戦に出演して、すごいパフォーマンスを見せ、認知度も高まっています。豊橋では来ないことが許されない状態になりつつある加納真実はもちろん、芸人まこと、SUKE3&SYUといった大人気組を抑えていただきつつ、今年は豊橋初登場の出演者が3組います。

その1つがシルヴプレという2人組のパントマイムのパフォーマー。フランスでもとても有名になっていて、日本人も笑っちゃえるパフォーマンスを見せてくれます。もう1つは、idio2というコメディのデュオ。去年も出演したこ〜すけが、今年はソロでも、idio2としても出演します。相方のStreet Entertainer Hi2は今年初出演です。それぞれのソロも楽しみながら、2人が一緒になったらどんな感じになるのかという、1粒で2度美味しいだけでなく、2粒で3度美味しいというような仕掛けもあります。また、今年は足長ウォーキングアクトのパフォーマー、ガンジスインダストリーが初登場。エレガントというか、全身真っ黒の大きな神様が降臨したような、ちょっとアートよりも言えるパフォーマンスです。

去年は会場から離れた、こども未来館ここにて前の草原中に初登場したDctpeppers theatreは、今年はPLATの北側ロータリーに登場します。場所が変わると雰囲気も変わりますので、1年経って進化した象さんたちを是非ご覧ください。音楽系だと、竹内直The Organic Resonationsが帰ってきて、初日4日の夜はスペシャルライブが行われます。

今年は、言葉を使わないノンバーバルなパフォーマンスが特に多いです。日本語がわからなければ楽しめないという演目は、ほぼありません。日本語でトークも交えていても、別に言葉がわからないと楽しめないわけではない。全て、見ていてだけで楽しい演目ばかり。だから小さい子どもたちも外国の方も楽しめます。

フェスティバルが終わるとき、パフォーマーたちが一堂にワートと出て、PLATの北側広場でフィナーレを飾ります。街中に散らばっていた人たちが最後に劇場に集合して、印象的に終わります。夢の世界のような素敵な時間になるはずですよ。

音楽、パントマイム、とんでもないアクロバット。コメディの笑いもいろんなジャンルの笑いが用意され、非常に幅広くいろんなエンターテインメントが登場します。きっと、これめっちゃ笑った、この音楽最高だった、という経験を今年もしていただけたと思います。

iaku

『はぐらかしたり、もてなしたり』

数々の演劇賞を受賞した劇作家・横山拓也による新作公演。

8月2日[土]、3日[日]14:30開演

作・演出＝横山拓也

出演＝瓜生和成、近藤フク、異儀田夏葉、竹田モモコ、富川一人、井上拓哉、高橋紗良、小林さやか

会場＝PLAT アートスペース



矢作—— PLAT に初めてiakuを、それも新作公演でお越しいただけるということで楽しみにしていますが、東海圏にはあまり来ていらっしゃるのでしょうか。

横山——実は、2012年4月に大阪で他のユニットに書き下ろした『人の気も知らないで』の出来が良く、これでiaku旗揚げをしようと決め、同年6月に、名古屋の大須の商店街にある雑貨屋さんの一角を借りて上演したのが、iakuの旗揚げ公演です。

矢作——横山さんは主宰で脚本・演出を担当し、基本的に一人ユニットなののでしょうか。

横山——学生時代からやっていた劇団では、作・演出をやっていましたが、iakuになった当初は大阪の上田一軒さんという演出家と組んで、僕が作、上田さんが演出で、いろんな地域に回るという形でスタートしました。今は、制作スタッフはいますが、僕の一人ユニットで、その都度俳優を集めて上演するという形です。

矢作——東京で制作される作品も増えていますが、心理や状況で変化はあったのですか。

横山——大阪に住んで大阪で作品づくりをしていた時は、ツアー先など、それぞれの地方で、同じような問題を抱えている演劇人たちと盛んに交流して、各地の演劇の問題を共有しつつ、地域からいかに作品を発信していくかということを意識していました。2015年に住まいを東京に移した当初も、変わらずやっていたと思っていたのですが、東京のマーケットは各段に大きく、東京を中心に演劇界が回っていることを認めざるを得ない。「大阪発信」にこだわっているつもりでも、東京の演劇界に飲み込まれていくような感覚がありました。でもこうやって東京でたくさんの人と知り合って、いろんな情報がうずまく中、iakuという存在がきちんと認められていく。そこは素直に喜んでいます。

矢作——横山さんはお芝居のどういうところに魅力を感じているのでしょうか。

横山——やはり、温度が感じられる、生の空気は演劇ならではだと思います。空間も共有することは、どの作品でも意識しています。大きい劇場に行けば行くほど、その空間を支配するのは難しくなっていくのですが、それにも挑戦させてもらえる喜びはあります。一方で、30人も入れればいっぱいという濃密な空間と一緒に体験する、観客が入ってようやく一つの作品になるような空間は演劇ならではの魅力だと思います。

矢作——今回の作品ではどのような物語を描こうとしているのでしょうか。

横山——家族愛もそうですし、恋愛もそうですし、広い意味での愛によつゝる物語を描こうと思います。世の中が恋愛をする難しさを抱えていて、今30代で一度もお付き合いしたことのない人や、独身の比率がものすごく高い。当然、少子化の原因のひとつになっています。結婚しにくい、恋愛しにくい世の中ではありますが、多くの人が恋愛に甘酸っぱい思い出があったり、滑稽な姿をさらした過去があったりします。昨今、描きにくい部分にきちんと自分が向き合い、しかも時代

にフィットするように描くというチャレンジも含めて、愛全般について、描いてみたい。社会的な題材を扱うというよりも、皆さんの身近な問題にアジャストするドラマで、かつ笑える、コミカルな運びにしたい。

矢作——横山さんが描く笑いは魅力的ですが、そこは関西生まれのある種の性なののでしょうか。

横山——演劇はエンターテインメントであってほしい。そこにはユーモアは欠かせない。ただ、笑いを目的にはつくっていない。生きていく中での滑稽さが作品に滲んでくればいい。関西弁のリズムはボケ、ツッコミが発生しやすい。コミカルには描いていますが、今回は標準語ということもあって、シニカルさも意識しようと思います。

矢作——出演者はどのような観点からオファーをしていらっしゃるのでしょうか。

横山——その時々ですが、今回で言えば、20代から50代までバランスよく集めようと思いました。かつ、普段関西弁で戯曲を書くことが多く、その際には関西弁ネイティブを求めますが、今回はいわゆる標準語ですので、幅広くキャスティングを選べるという意味で、今までで一番悩んだかもしれない。でも今回は、作品に合わせてというより、やりたい人たちをまず集めようというスタンスでした。前の劇団の後輩で、今は劇作家として大活躍している竹田モモコも俳優として改めて呼んでみると、素材は十分そろって、後は面白くするだけです。

矢作——東京や大阪以外のエリアで芝居をつくることの魅力をどう感じていますか。

横山——優れた俳優はどの地域にもいて、その地域だけで埋もれるのはもったいない。各地の優れた俳優と一緒に作品を立ち上げるのは楽しい。もつといろんな地域の俳優たちと出会って、コミュニケーションを取っていけるようになればいいなと思っています。

矢作——iakuとして、今後どういう展開をしていきたいか、お伺いできますか。

横山——僕はずっとMONOの土田英生さんに影響を受け、憧れて演劇をやってきました。土田さんに教わった普遍的な作品づくり、たとえば、作品の中では固有名詞を使わないとか、10年、20年たっても、読み物としても楽しめ、戯曲が残る、何度も繰り返し上演が望まれる作品づくりを意識してやっていこうと思います。それを自分で実行するために新作、再演の交互での上演はずっと続けていきたい。

矢作——最後に初めて豊橋で見のお客様に向けて、iakuのここを見てほしいという点をお伺いできますか。

横山——間口の広い作品なので、気軽に見に来ていただきたい。対話の劇なので、舞台上にいる人たちと混ざって、自分の意見を言いたくなるようなお芝居を持っていきます。観劇後、一緒に来た方々と話し合えるような作品になると思うので、ぜひ楽しみにしてもらえたらと思います。

矢作——ありがとうございました。

作・演出
横山拓也

広い意味での愛によつゝる物語です。

聞き手 矢作勝義 前穂の国とよはし芸術劇場D17 芸術文化プロデューサー

プラット2025年度 プログラム説明会

4/26 [土] 14:00 開演

2025年度、プラットがお贈りする主催・共催プログラムをご紹介します。地元出身の若手音楽家・Femme Fataleの安間善和によるピアノ演奏や、毎年好評のプレゼント抽選会もお楽しみに！
会場＝PLATアートスペース
料金＝無料(要事前申込)
申込方法＝

- ①劇場1階窓口にて入場整理券を入手
- ②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。



安間善和



ケムリ研究室 no.4 残りわずか 『ベイジルタウンの女神』

6/6 [金] 18:00 開演

6/7 [土] 13:00 開演

6/8 [日] 13:00 開演

2020年9月のコロナ禍のため収容人数制限下で上演されたケラリーノ・サンドロヴィッチと緒川たまきが立ち上げたユニット「ケムリ研究室」旗揚げ公演の待望の再演。俗世知らずのお嬢様と乞食の“王様”が繰り広げる、大人のロマンティック・コメディ。

作・演出＝ケラリーノ・サンドロヴィッチ

出演＝緒川たまき、古田新太、水野美紀、山内圭哉、坂東龍太、藤間爽子、小園茉奈、後東ようこ、斉藤 悠、依田朋子、中上サツキ、秋元龍太郎、尾方宣久、菅原永二、植本純米、温水洋一、犬山イヌコ、高田聖子

会場＝PLAT主ホール

料金＝[全席指定] S席 11,000円、A席 8,000円 ほか

若手音楽家育成事業

辻 純佳&磯谷莉佳 デュオコンサート

「風薫るパリのひととき」

6/21 [土] 14:00 開演

「プラットフロンティアコンサート」2021年度に選抜された、ヴァイオリニスト・辻純佳と、こでまりデュオとして活動していたピアニスト・磯谷莉佳がこの度デュオとして登場。

出演＝辻 純佳[ヴァイオリン]、磯谷莉佳[ピアノ]



撮影：伊藤華織

とよはしアートフェスティバル2025 大道芸inとよはし

5/4 [日・祝] 12:00 ～ 18:00

5/5 [月・祝] 11:00 ～ 16:00

今年で14回目となる大道芸は、マイムにアクロバット、JAZZなどの超豪華ラインナップ！世界で活躍する大道芸人によって、いつもの街がまるごと劇場になる2日間！笑いと涙、超絶びっくり、大道芸のすべてがここにある。

会場＝PLAT北側広場、PLAT北側ロータリー、豊橋駅南口駅前広場、こども未来館こここ、まちなか広場、豊橋駅東口サークルプラザ(4日のみ)、精文館書店本店前(5日のみ)、ユメックス前(5日のみ)

料金＝無料

竹内直 The Organic Resonations スペシャルライブ

5/4 [日・祝] 17:00 開演

世界を走るサクソ奏者、竹内直が率いるジャズミュージシャンによるスペシャルライブを開催します。

出演＝竹内直 The Organic Resonations

会場＝PLAT主ホール

料金＝無料(要事前申込)

申込方法＝

- ①劇場1階窓口にて入場整理券を入手
- ②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。



『ベイジルタウンの女神』舞台写真 撮影：引地信彦

6月7日のみ



『星の降る時』

6/27 [金] 18:00 開演

6/28 [土] 13:00 開演

6/29 [日] 13:00 開演

2023年 National Theatre Dorfman Theatre で上演されるや絶賛され、2024年度「オリヴィエ賞」NEW PLAY にノミネートされたベス・スティール話題の新作戯曲を栗山民也の演出による日本初演。

炭鉱町に生まれ母親を早く亡くし、元炭鉱夫の父に育てられた3人姉妹。今日は三女の結婚式。幸せな時を過ごすはずの家族だったが、過去の確執や裏切り、憤りなどが、次第に浮かび上がり…。

会員先行＝4月12日(土)

一般発売＝4月26日(土)

作＝ベス・スティール

翻訳＝小田島則子

演出＝栗山民也

出演＝江口のりこ、那須 凜、三浦透子、近藤公園、山崎大輝、八十田勇一／秋山菜津子、段田安則 ほか

会場＝PLAT主ホール

料金＝[全席指定] S席 11,000円、A席 8,000円 ほか
※発売日初日は、お一人様1申込につき1公演4枚までの枚数制限あり。

【共同主催】メーテレ、メーテレ事業



6月29日のみ

共催

『ザ・ヒューマンズ 一人間たち』

7/5 [土] 13:00 開演

7/6 [日] 13:00 開演

劇作家・脚本家として活躍するスティーヴン・キャラムのヒット作、『ザ・ヒューマンズ 人間たち』。マンハッタン of 老朽化したアパートを舞台に、感謝祭を祝うために集まったある家族の会話から、貧困、老い、病気、愛の喪失への不安、宗教をめぐる対立などが浮かびあがる一夜の物語。ピューリッツァー賞演劇部門最終候補、トニー賞、ニューヨーク演劇批評家協会賞の最優秀プレイ、オビー賞劇作賞を受賞した本作を桑原裕子の演出による日本初演。会員先行＝4月26日(土) 一般発売＝5月10日(土) 作＝スティーヴン・キャラム

翻訳＝広田敦郎

演出＝桑原裕子

出演＝山崎静代、青山美郷、細川 岳、稲川実代子、増子倭文江、平田 満

会場＝PLAT主ホール

料金＝[全席指定] S席 6,000円、A席 4,000円 ほか
※発売初日は、お一人様1申込につき1公演4枚までの枚数制限あり。

【特別協賛】サーラグループ



マイセレクト
2025
4
7月5日のみ

※6日(日)は聴覚に障がいのあるお客様のためのポータブル字幕機の貸出あり(要事前予約)

iaku

『はぐらかしたり、もてなしたり』

8/2 [土] 14:30 開演

8/3 [日] 14:30 開演

紀伊国屋演劇賞、鶴屋南北戯曲賞など数々の演劇賞を受賞している劇作家・横山拓也による大阪発の演劇ユニット iaku による新作公演を PLAT 初上演。



会員先行＝5月31日(土) 8月2日のみ

一般発売＝6月14日(土)

作・演出＝横山拓也

出演＝瓜生和成、近藤フク、異儀田夏葉、竹田モモコ、富川一人、井上拓哉、高橋紗良、小林さやか

会場＝PLATアートスペース

料金＝[全席指定] 一般 4,000円、U25 2,000円、高校生以下 1,000円

マイセレクト
2025
4

若手音楽家育成事業

プラットワンコインコンサート2025

「若い音楽家には活躍の場を、お客様にはより音楽を楽しめる機会を」と企画された

PLATオリジナルのコンサートです。500円でぜいたくなひとときをお過ごしください。

会場＝PLAT アートスペース 料金＝[全席自由・日時指定・整理番号付]500円

Musica Waya 好評発売中
「わや!なおもちゃ箱」

5/30 [金] 14:00 開演

出演＝武田涼雅[サクソフォン]、市居有香[ピアノ]
演奏予定曲目＝ラフマニノフ:リラの花Op.21-5、カプー
ステン:サクソフォン協奏曲Op.50 ほか

私たちは音楽で喜びと笑顔を届けることをモットーに活動
しているサクソフォンとピアノのデュオ、ムジカ・ワヤです。
5月のコンサートでは、おもちゃ箱の中のようにバラエティ
に富んだ作品で、メンバーそれぞれの人柄をトーク、演
奏の両方を通してお届けしたいと思っています。聴き馴染
みのある日本の唱歌をはじめ、サクソとピアノのをれぞ
れの音色を一度に楽しめるひとときをお届けしたいと思
います。



デュオ・ネリネ
「チューバde夏の夢」

7/11 [金] 18:30 開演

発売＝5月29日(木)
出演＝渡邊 望[チューバ]、中條 響[ピアノ]
演奏予定曲目＝グオーン・ウィリアムズ:チューバコンチェ
ルト 短調、ドビュッシー:ベルガマスク組曲より抜粋 ほか

東海地方を中心に活動するチューバとピアノの2人組、
デュオ・ネリネです。皆さんはチューバの音色を生で聴い
たことはありますか?なかなかソロとして出会う機会の少な
い楽器だと思いますが、どっしりとした重厚感あるチュー
バ、軽やかで美しいピアノのハーモニーと共に夏の夜の
魅惑の世界へお連れします!チューバの腕の鳴る曲も!是非
お越しください♪



二宮綾音&小田かるら
「笛で奏でる夏祭り」

8/20 [水] 18:30 開演

発売＝5月29日(木)
出演＝二宮綾音[フルート]、小田かるら[ピアノ]
演奏予定曲目＝リスト:ベトラルカソネット 104 番、鹿
田 愛:フルートとピアノのための『豊橋讃』(仮・初演) ほか

豊橋のピアノ教室で出会った私たち。現在は東京藝術大
学と昭和音楽大学で研鑽を積んでいます。故郷である豊
橋でコンサートをするにあたり、二宮の藝大同期で『矢場
とん』の社歌の作曲者でもある鹿田愛に、鬼祭りやええじ
やないか、手筒火花など豊橋ゆかりのモチーフをテーマに
した新作を書き下ろして頂きます。フルートのみならず、
ピッコロやアルトフルートとピアノで演奏します!



プラットワンコインコンサート2025 出演者募集

音楽鑑賞の普及と同時に、豊橋および三河地域にゆかりのある若手音楽家に演奏の機会を提供し、地域の若手音楽家らの支援・育成を目的としたプラットワンコインコンサート。

劇場と共にコンサートをつくり、出演する若手音楽家を募集します。※応募条件・詳細は劇場ホームページをご確認ください。

審査＝[一次]書類 [二次]実技:6月17日(火)～19日(木)のいずれか 17:00以降

申込方法＝5月18日(日)までに ①必要書類を窓口・郵送(必着)にて提出 ②必要書類をメール(jigyuu@bunzai.or.jp)にて提出

プラット親子わくわくプログラム2025
『CLUB ORIGAMI(クラブオリガミ)』

8/5[火]11:00 開演 / 15:00 開演

子どもから大人まで楽しめる、折り紙をモチーフにした参
加型パフォーマンス。巨大な紙を使って、丸めたり、ビリ
ビリ破いたりしながら、ファッション・ダンス・生演奏が一
体となった作品。(推奨年齢:4歳～9歳)
会員先行＝5月31日(土)
一般発売＝6月14日(土)

ダンスアーティスト＝青山磨紀子、松本武士
作曲家・ミュージシャン＝ロバートホワット
ツアーダンサー＝斉藤ますみ
会場＝PLAT アートスペース
料金＝[全席自由・時間指定]
おとな 1,500円、こども(0～18歳) 500円 ほか



高校生と創る演劇サマーキャンプ
ワークショップ&作品試演会
参加者募集

ファシリテーター・演劇家である柏木陽と、中学3年生～
高校生参加者が6日間のワークショップを重ね、最終日
には成果発表として作品試演会を行います。5月プレワ
ークショップのみの参加も可能です。

対象＝2007年4月2日～2011年4月1日生まれで、5
月25日(日)、8月12日(火)～17日(日)のワークショッ
プと作品試演会に全日程参加できる方。演劇経験不問。

申込方法＝5月12日(月)17:00までに
①参加申込書を窓口・FAX(0532-55-8192)にて提出
②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。
[プレワークショップ]

日時＝5月25日(日)13:00～18:00

料金＝500円

定員＝30人程度(先着順)

[ワークショップ・作品試演会]

日時＝8月12日(火)～17日(日)10:00～18:00

料金＝2,000円

定員＝15人程度(選考)

市民と創造する演劇『赤鬼』
舞台手話通訳付きバージョン
出演者募集

公募による出演者が、劇場やプロのスタッフとともに上演
する演劇の第11弾。PLATで『凜然グッドバイ』(2021年)
や、『楽屋-流れ去るものはやがてなつかしき-』(2022
年)などの舞台手話通訳付き公演を演出した樋口ミユを
演出家に迎え、1996年の初演以降、日本だけでなくイ
ギリスやタイ、韓国でも上演されてきた野田秀樹の名作『赤
鬼』を舞台手話通訳付きで上演します。

対象＝高校生以上で、ワークショップ、稽古、公演日
(2026年3月7日・8日)に参加できる方。演劇経験不問。

定員＝25人程度(選考)

審査＝7月19日(土)・20日(日)のいずれか

申込方法＝6月22日(日)17:00までに

①参加申込書を窓口・FAX(0532-55-8192)にて提出

②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。

コミュニティ×アーツ・コーディネーター
養成講座[前期]
6月1日[日]、14日[土]、22日[日]

[全3回]

プラットとともに地域の課題に向き合い、表現を通じたつ
ながりを生み出すコーディネーターの役割について学べる
講座です。

講師＝吉野さつき、小川智紀、峰岸優香

会場＝PLAT

対象＝18歳以上で極力全日程参加できる方。

料金＝3,000円(全3回)

定員＝20人(応募者多数の場合は選考)

申込方法＝5月25日(日)までに

①参加申込書を窓口・FAX(0532-55-8192)にて提出

②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。

ワークショップファシリテーター
養成講座2025[前期]
7月13日[日]～8月31日[日][全7回]

長期的・継続的な視点でワークショップを振興する人材
「ファシリテーター」を地域に育成する連続講座。前期で
は「ワークショップ縁日」に向けて、ワークショップをつくり
ながら進行について学んでいきます。

講師＝柏木陽、すずきて一た、吉野さつき

会場＝PLAT

対象＝18歳以上で極力全日程参加できる方。演劇経験
不問。

料金＝3,000円(全7回)

定員＝20人(応募者多数の場合は選考)

申込方法＝7月4日(金)までに

①参加申込書を窓口・FAX(0532-55-8192)にて提出

②劇場ホームページの専用申込フォームより申込み。

チケットの購入・お問合せ
プラットチケットセンター

●オンライン

https://toyohashi-at.jp[24時間受付・要事前登録]

●劇場電話・窓口

0532-39-3090[休館日を除く10:00～19:00]

発売初日はオンライン・電話のみ取り扱い。

翌日以降、残席がある場合は窓口販売あり。

U25・高校生以下割引ご案内

ほぼすべての財団主催公演に、若い人にお得な料金を設
定しています。

●料金＝U25[25歳以下]:公演ごとに指定する席種の半
額/高校生以下:1,000円

●購入方法＝各公演の一般発売初日から取扱い。

●その他＝本人のみ1公演につき1人1枚。枚数限定。
座席の指定はできません。要・入場時本人確認書類提示。
※一部例外あり。詳細は各公演チラシ・HPにて。



プラットフレンズ募集
入会金・年会費無料

●特典

1 公演情報をメールでご案内します。

2 インターネットでチケット予約ができます。

3 主催公演のチケットを一般発売に先がけてご予約で
きます。

※劇場窓口またはホームページから登録いただけます。

〈会員限定!〉 好評発売中
2025年度マイセレクト4発売

演劇、ダンスなど多彩な公演からお好きな4演目を選ぶ
自分だけの“マイセレクト4”。贈り物としてもご利用いた
できます。

対象公演＝

『ザ・ヒューマンズー人間たち』

iaku『はぐらかしたり、もてなしたり』

ピーピング・トム『Triptych(トリプティック)』

野村万作・野村萬斎 狂言公演2025

人形浄瑠璃文楽

小尻健太(SandD)『The Self in Season(仮)』

FemmeFatale コンサート

二兎社『狩場の悲劇』

市民と創造する演劇『赤鬼』舞台手話通訳付きバージョン



PURAPURA

バラコの 寄り道ぷらぷら

相方のような 桑原裕子

穂の国とよはし芸術劇場 芸術監督



「まるで別れ話を切り出せない恋人を見てるようだったわ」
「わかる!絶対、自分から言い出せないタイプですよ」
「ああ、かわいそうな桑原さん!」

PLATの劇場スタッフVちゃんの車に乗って皆の集まる食事処へ向かいながら慰めてもらっていた私はその時、まさしく失恋にも似た気分だった。会議のあと、数人と軽く昼食を取るつもりで向かった食事処には劇場スタッフがほとんど集まっていた。それで、これは東京にいてなかなか劇場に来られない私と「昨日まで別れを切り出せなかった恋人」のために用意してくれた少し早めのお別れ会なのだ理解了。

当の本人は座敷の奥に座り、いつになくしおらしくしながら、ひとまずの役割を終えて少し安堵したかのような表情だった。その顔が憎らしく、私は対角線上の一番遠い席に座り、遠くから睨んだり、思いつくまどやしたりした。

「あなたが私を見送る側だと思っていたのに。私をこんなところまで連れてきて」

私が言うと、周りにいたスタッフは「こんなところ……」と漏らしつつ苦笑した。

そう、「こんなところ」とは豊橋のこと。私にとってそれまで縁もゆかりもなかった場所。そしていつしか大切な場所になってしまった、豊橋。

この3月末。開館前からPLATを支えてきたプロデューサーの矢作勝義さんが退職されたのです。

食事会の前夜、打ち合わせと称して集まった飲み屋で私は、来年PLATでやりたいことについて相談を持ちかけ、熱弁を振るっていた。いつもの矢作さんなら前のめりで応えてくはずなのに、お馴染みの「えっと、はっきり言うね」と

いう枕詞でまくし立てるプランも出てこず、どこかウロウロと相づちを打つばかり。妙だなと思って、遅れてスタッフのOちゃんとVちゃんが飲み屋へやってきた。「もう話した?」と矢作さんに問い、「まだ」と聞かや「もう!なにやってんの!」とタメ口で氏の肩口を叩いている。

私はスタッフ間のこういうやりとりがしみじみ好きだ。いつもはちゃんと上司と部下でいるけれど、抜くところは抜いてよしという関係性を作れていることに尊敬の念がある。みんなで飲み屋に行くといつもビール数杯でいの一晩に寝てしまう矢作氏だが、スタッフたちは「いいんです、こっからが本番です」と一切気に留めないのも面白い。

けれどこの日は寝る気配もなく、目はさざざえとしてるわりにウロウロ。うっすら嫌な予感を抱いた私が「なに?劇場を辞めるとか?」と冗談半分以上でふっかけてみると、「オッ(当たり)!さすが!」などと調子よくいうので、一気に腹が立った。

「私たちが自分の口から言えるようにわざわざ飲み屋をセッティングしたのに、結局桑原さんに言わせてるじゃん!」とOちゃんVちゃん。こういう流れがあって、冒頭の車内へと繋がるのだった。

私が矢作さんと初めて会ったのはちょうど20年前の劇団公演。客席数100名ほどの小さい劇場の桟敷席に、スーツ姿で体育座りをしてたのが当時、都内公共劇場の制作者だった矢作さんだった。

PLATができる前、我が劇団KAKUTAは矢作さんの後押しもあり安く劇場を借りられる提携公演をさせてもらったり、リーディング公演に演出で呼んでもらったりと何度もお世話になった。2011年に矢作さんが企画して私が脚本を書

いたプロデュース公演が震災の憂き目にあって中止になりかけ、なんとか持ち直して上演に至ったとき、初日の公演を終えた劇場でふたり肩を組み、泣いた。氏が泣いたのを見たのは二度目で、一度目はその公演が中止になったときだった。

なので私は知っている。いつも飄々としている風で、彼が決して強い涙腺を持っていないということ。その話をくだんの車内で話したら、「(市民と創造する演劇の)「甘い丘」が幕を開けたときも客席で泣いてましたよ」……いや、そこまで涙もろいとは知らなかったけど。ともかく氏は今回の報告で湿っぽい雰囲気になることを全力で避けているようであった。もし私が泣こうものなら、きっと氏も泣かずにはおれぬだろう。流されやすい人かもしれない。

長い付き合いだが、私がPLATで芸術文化アドバイザーに就任するまではあくまでもプロデューサーのひとりであり、その関係は今も変わらない。けれどいつしか私の中で、勝手に「相方」のように思っていたのかもしれない。私をこのPLATに連れてきてくれ、どんなときも伴走してくれていた存在。アフタートークの司会はいつも絶妙に硬く、そのわりに話すぎる人。打ち合わせで密かに寝落ちする人。事務所内ではPCの配線などに重宝がられる人。「えっと、はっきり言うね」というわりに、あまり冷徹さを持ち合わせておらず、結局やりたいことを思うままにやらせてくれた人。

私に限らず、これまで氏は多くの若手演劇人や劇団を発掘し、バックアップしてきた。新天地でもきつと、彼に出逢って演劇の可能性が広がる人たちは大勢いるだろう。食事処での会合は楽しかった。劇場スタッフがとにかく皆、優しかった。

ギリギリまで報告しなかった矢作さんに私と一緒に呆れ、悪態をつき、「ああいう人なんてほんとしようがないですよ」と慰めてくれた。どさくさ紛れに「だってあんな人いないじゃん」と漏らした人もいた。誰より寂しいのはもちろんここにいる人たちだろうが、私を慮って普段通りにしてくれている。それこそが氏への敬意の現れなんだと思った。

食事会を終えて豊橋駅へ送ってくれるVちゃんの車に乗る直前、私は矢作氏をきつく抱きしめた。暖かいハグなどではない、につつきこんにゃろうと言わんばかりの。矢作さんは笑いながら、いつも通り、姿勢正しく見送ってくれた。いつかまた別の場所で会っても、きつとそのままでいてくれるだろうと、わかっている。

その日はまともにこれまでの感謝を伝えることなどできなかった。情けないが、矢作さんもぐずぐずしてたんだから、私もしばらく、ぐずぐずさせてほしいと思った。

矢作勝義さん、今までほんとうにありがとうございました。

SPONSOR

広告募集

知識製造業
三遠機材株式会社
http://www.san-en.co.jp

Gallery 48
呉服町48 TEL.54-4848

有限会社 魚伊
電話 52-5256

グロリアンピアノ地域特約店
白羽楽器 株式会社
電話 053-464-3015

ケンチワ 701
KURONO ARCHITECT STUDIO
y.qlo0170@gmail.com

看板広告 アラキスタジオ
豊橋市上伝馬町16 電話52-5586番

本と文具なら
精文館書店
TEL.54-2345

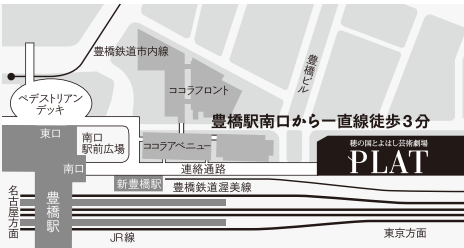
なければつくる
ONOCOM 株式会社 オノコム

外科・内科・胃腸科・麻酔科・肛門科
医療法人栄真会 伊藤医院
豊橋市小池町字原下35 電話45-5283(代)

創業文政年間
伊藤 義孝 宗
豊橋市新本町40 電話52-5473番

調理と製菓のおいしい資格。
豊橋調理製菓専門学校
豊橋市八町通一丁目22-2 TEL53-2809

60th anniversary
DAIHOU



豊橋銀行協会 (順不同)
三菱UFJ銀行 みずほ銀行 静岡銀行 名古屋銀行
三井住友銀行 三井住友信託銀行 清水銀行 三十三銀行
十六銀行 愛知銀行 中京銀行 大垣共立銀行

創業江戸 御茶席菓子専門店
若松園
御菓子司

気まぐれコンサート
事務局/0532-62-9259(小川)

安心・安全な地下駐車場
パワ500
プラット主ホール・アートスペース公演等へのお客様は
30分150円を30分100円(上限4時間まで)に割引します。

整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科
医療法人 塩之谷整形外科
理事長 塩之谷 香
豊橋市植田町関取54 電話0532-25-2115(代)

豊橋名産 命あくわ

井上皮フ科クリニック
診療時間 月・火・木・金 10:00~13:00 16:00~19:00
土 10:00~14:00 休診日=水・日・祝
電話0532-55-7007 愛知県豊橋市向山町字中畑13-1マイルストーン1F

プラス・ワンの付加価値をお客様に提供いたします。
共和印刷株式会社
豊橋市小池町36番地の1 TEL46-3281 FAX46-3285

整形外科・皮膚科・リウマチ科・リハビリテーション科
医療法人 大岩整形外科・皮フ科
院長 大岩俊久 豊橋市大橋通二丁目115 電話55-2100

伝統的工芸品豊橋筆
書道用品専門店
豊橋市呉服町四拾四番地 電話52-5514

ISO9001 ISO14001 愛知ブランド企業 認証・認定取得
株式会社 三光製作所
三光精密工業株式会社
豊橋市佐藤一丁目12番地の3

sala
サーラグループ

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地
電話＝0532-39-8810[代表](9:00～20:00)
開館＝9:00～22:00 休館日＝第三月曜・年末・年始。
第三月曜が祝日の場合はその翌平日。
豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、
新豊橋駅(豊橋鉄道渥美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用いただくか、
お近(の)公共駐車場等をご利用ください。

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

SUPPORT

特別賛助会員のご紹介

私たちは穂の国とよはし芸術劇場の活動を支援しています。

株式会社アイセロ
旭精機株式会社
株式会社イクモ
税理士法人イグラ会計
イノチオホールディングス株式会社
株式会社エクスラージ
大和田和恵
株式会社オリエント楽器
医療法人佳道会 藤城歯科医院
蒲郡信用金庫
川西塗装株式会社
河原崎 妙
株式会社三光製作所
三光精密工業株式会社
サーラエナジー株式会社
株式会社サーラコーポレーション
三遠機材株式会社
株式会社東雲座カンパニー
株式会社シュガーサウンド
大三紙業株式会社
戸田淳子
トヨタネ株式会社
トヨネン株式会社
株式会社豊橋印刷社
豊橋芸術文化事業サポート株式会社
豊橋ケーブルネットワーク株式会社
豊橋信用金庫
豊橋倉庫株式会社
豊橋鉄道株式会社
早川直宏
株式会社平松食品
藤城建設株式会社
学校法人藤ノ花学園
株式会社豊川堂
まちなかビブリオ倶楽部
松井商事株式会社
村田小児歯科センター
物語コーポレーション
有楽製菓株式会社 豊橋夢工場
若松園
匿名会員2名
(五十音順)

